



出発前に参加者全員で記念写真



小雨の中を元気にスタート

新しい20歳の思い出づくりを

さる4月15日、「20歳のふれあいウォーキング大会」が行われました。これは、今年成人式を迎える人たちが構成されている成人式実行委員会が企画したものです。

当日は心配された雨も大したことなく、午後9時30分、40名の男女が勤労青少年ホームを出発。約10.5kmのコースをおよそ3時間30分かけて歩きました。勤労青少年ホームにゴールした後もトン汁やおにぎりを食べ、朝までバレーボールの試合をしていました。参加した新成人の皆さんは、夜の新津を歩き、郷土を見つめ直し、新しい20歳の思い出づくりをしているようでした。

20歳の再会

懐かしい友達との 思い出話に花が咲きます。

五月三日の憲法記念の日に市民会館を会場に、成人式が行われました。今年の成人式当者は男子四百十五名、女子四百五十四名の計八百六十九名。当日はあいにくの雨模様となりましたが、六百六十一名が参加し、会場は満席となりました。

スライド上映、謡曲の「記念演奏」の後、式典が始まり、新成人を代表して、斎藤美和



式典(上)と祝賀会(下)の様子

新成人の言葉(要約)

先駆者が未経験のものの掘り出しを
車場三 斎藤美和
私たちは、新人類とも呼ばれ、周囲の人には、明るいだけが取り柄のように映っているようです。しかし、普通の大人と同じように恋愛や仕事などに悩み、傷つき、落ち込むことだってあります。そんな姿を他人に見られたくないから、外面だけでも明るくしているのだと思います。

時がたつにつれ、最近ほどドライな感覚がうけています。その結果、私たちは何が大切なのかを見つけることが難しくなっています。そんなものを見つめるには、多少不器用でもいいからハートの感覚を身につけることが要求されます。時の流れの中で、若者の意識は変転を続けます。しかし、昔も今も若者はその可能性を求め、信じ、認めてやれば、そこから無限の力を発揮します。

私たちは、二十一世紀に向けて歩んでいます。そして、長い航海の中で人生の先輩者が経験できなかったものを、私たちの力で掘り出していきたいと思います。



斎藤美和さん

お買物、ご用命は市内で

靴なら何でも揃うイザワ
旧市役所前
靴のイザワ
*あるく楽しさを
お届けする—*

夏の醍醐味
サクッと甘い本格的なすいかです。
群馬産 三日月 紅 小 玉
群馬産 向 大玉すいか
ご贈答にどうぞ
フレッシュで
おいしい果物の店 **やまいし**
新津市本町3-1
TEL 23-0397



ごみは分別して収集場所へ

ごみの分け方

燃やせるごみ	燃やせないごみ	ガラスびん
調理くず、紙くず 軟らかいプラスチック 庭の草、木など(少量)	せともの、板ガラス、金属 小型の家庭製品 割れたびん 塩素系ポリ容器 硬いプラスチック (有害ごみ) 乾電池、蛍光灯、体温計	ガラスでできた各種びん容器 (ウiski、ドリンク、化粧品びん)

ごみ出しにもエチケット
ちよつとエチケット
ごみ出しにもエチケットがあります。ごみは、定められた方法で正しく出すようにしましょう。
ごみを出すとき、新津市では左の表のような仕分けをして出す分別収集をしています。燃やせるごみ、燃やせないごみ(有害ごみを含む)、ガラスびんに分け、それぞれ決められた日に収集されています。しかし、爆発の恐れのあるもの、タイヤ、劇薬、廃油や事業活動により生じた多量のごみ、大型家庭電化製品などは、市の施設では処理できません。専門収集業者へ依頼したり、販売店から下取りしてもらってください。
毎日、何気なく出しているごみですが、市民一人当たり一日約九百の家庭ごみを捨てています。決められたごみ収集日に、分別の方法をしっかり守って出す——こうしたごみ出しのエチケットで、きれいな町づくりにご協力ください。

**硬いプラスチックは
不燃ごみの日に**
毎日出されるごみは、昔と違って内容も質も大きく変わってきています。特に最近多いのが「プラスチック」で、処理がなかなかやっかいな代物です。プラスチックをそのまま分別しないで焼却すると高熱が発生し、焼却炉を傷めてしまうからです。現在、耐用年数を大幅に経過した市の焼却炉では、ごみを完全に焼却することが能力上、だんだん難しくなっています。
焼却施設への負担を軽減するためにも、プラスチックの正しい分別が必要で、硬いプラスチックは燃やせないごみ(不燃ごみ)の収集日に、軟らかいものは可燃ごみの収集日に出すようご協力をお願いします。
▽硬いプラスチック:指で押しても簡単にへこまないもの(おもちゃ、塩ビパイプ、バケツ、ブランター、漂白剤などの容器など)
▽軟らかいプラスチック:袋類、発泡スチロール類のバック容器、サラダ油やシャンプーなどの容器、塩素系を除く洗剤の容器など
なお、分別がよく分からないものがありましたら、市役所生活環境課(電話241-2111内線551)へお問い合わせください。

紙のリサイクル

古紙は 貴重な資源です

紙の使用量は
世界第2位

日本国内の「紙」の使用量は年間約三千四百九十四万トン(昭和六十三年)で、アメリカに次いで世界第二位です。

ところで、紙の原材料は木材です。紙をたくさん使うことは、それだけ多くの森林を必要とするわけですから、木材資源の多くを海外から輸入している日本としては、重要な問題です。

そこで、私たちが森林を守る一環として心がけたいのが、古新聞や古雑誌などを再生し、利用する紙のリサイクルです。こうした新聞や雑誌などの古紙は回収されたあとに異物などを取り除き、



薬品処理をすると、紙の原料の「パルプ」に立派に再生されるのです。
2億4千万本の木を守った古紙再生
現在、古紙は年間の紙の生産量の半分近くに当たる約千九百九十六万(四八・〇%)が回収され、再生利用されています。
ところで、古紙一トンは立木の何本分になるかお分かりでしょうか。直径十四センチ、高さ八メートルの木とすると、古紙一トンは立木二十本分に相当します。ですから、一年間に回収された千九百九十六万トンの古紙の再利用は、年間に約二億四千万本近くの立木を、伐採から守ったのと同じこととなります。
これからは、私たち一人ひとりが協力をして、貴重な森林を守るために古紙の再利用をすすめていきたいと思います。

お買物、ご用命は市内で

電気のことなら、お気軽に!
お宅の家電品はすべて調子よくお役に立っておりますでしょうか?ちよつと点検してみませんか。もし、お困りのもの、ご不満のものがございましたら何なりとご相談下さい。
(どのメーカーでも結構です)
午後8時まで営業
新津店 新津市本町27番13号 TEL (0250) 24-3131

住まいのガードマン
電話(0250)24-2287
南山中工務店
五十嵐便利屋サービス
新津市滝谷町19-3
●便所の改造
●雨漏り修理
●カワラの吹付
●風呂場の改造
(ユニットバスに入れ替え)